

茨木市議会議員(無所属)



茨木病院・菜の花支援センターにて

あびこ浩子



ゆめ・みらい通信



2019年も残りわずか
1年の締めくくりです



みなさま、いつもお世話になっております。あびこ浩子です。

あっという間に12月を迎えた気分です。年々時間の経過を早く感じるようになってきています。市議会では12月議会が開催中です。前段本会議では消防職員の後輩への事件の責任を負い市長と担当副市長が給与を10%を一か月減給とする専決処分についての議決をはじめ、人権擁護委員の選任の人事案件や、指定管理者の選定、南目垣地域の地区計画、西豊川地区地区計画、市道総持寺駅前線改良工事など22件が上程されました。その後4つの常任委員会が開催されています。

私は本会議質疑において、「社会福祉協議会の改革について」と「住宅政策について」を質疑いたしました。社会福祉協議会の件は今年度毎議会で取り上げています。地域福祉の推進に欠かせない存在である社会福祉協議会。毎年6000万ほどの赤字を出しており、基金を取り崩しての運営が続いており、あと数年で基金も底をつくのが見えています。市の公募の委託事業に手を挙げて、競争の結果受託しているのですが、総事業費1000万円の事業に対して人件費だけで1500万円を支出しており、必然的に赤字になります。そのような体質を改善しなければ、赤字からの脱却は難しいです。プロジェクトチームを結成して話し合いを進めているのですが遅々として進まずという状況であることがわかりました。改革案がまとまらなければ、市の一般会計から支出を続けるしかありません。委託料・補助金を合わせて年間2億円近くを社会福祉協議会に支出しています。健全財政での安定した運営をしていただくことで日ごろ市内を奔走して頑張っていただいている職員の皆さんが安心して仕事ができるようにしていただきたいのです。

今年もお世話になりました。年末のご挨拶は今週で終わります。次回は年明けにお目にかかります。良いお年をお迎えください！

【あびこ浩子プロフィール】

- ◆玉櫛小・南中卒業／1980大阪府立千里高校卒業／1984関西大学文学部卒業／2008大阪市立大学大学院創造都市研究科共生社会研究分野修士課程修了／大学時代銭原キャンプ場でカウンセラーとして活動
- ◆1984高槻市立第7中学校教諭／1987茨木市立三島中学校へ転任1990退職／2000沢池幼稚園PTA会長／2002穂積小PTA会長／2006茨木市PTA協議会会長／2004NPO法人Chacha-House代表理事／2006穂積小校区青少年健全育成運動協議会会長／2006NPO法人子育て広場全国連絡協議会理事／2011穂積地区自主防災会会長／2012穂積地区福祉委員会副委員長
- ◆2008・4茨木市議会議員補欠選挙で初当選／2009・1選挙2期目当選／2013・1選挙3期目当選／2017・1選挙4期目当選
- ◆穂積地区 在住

あびこ浩子連絡先

電話・FAX 072(655)8460(留守時はメッセージをお願いいたします。)

Email: contact@hiroko-abiko.jp

茨木市紫明園10-74-405

HP: http://www.hiroko-abiko.jp

FACEBOOKページ

「あびこ浩子(茨木市議会議員)」

「あびこ浩子 茨木ゆめ・みらい工房」

Twitter @abiko_h(あびこ浩子(茨木市議会議員))



お互いさまと思える茨木に！
生活者の視点を政治に！



訪問型サービスAヘルパー養成研修

生活支援の担い手である訪問型サービスAヘルパーの養成研修が開催されます。

軽度の介護保険サービス利用者(要支援1・2等)の自宅を訪問し、掃除、洗濯、調理、ゴミ出し等、身の回りの家事をお手伝いするヘルパーのことです。(1回当たり45分～60分程度)着替えや入浴介助といった、利用者の身体に触れる介助(身体介護)は行いません。本研修の受講料は無料です。満15歳以上で、茨木市内で訪問型サービスAヘルパーとして勤務をご希望の方ならどなたでもOKです。定年退職して時間に余裕のある方や、ちょっとしたお仕事を探している主婦の方にもぴったりです。

一緒に始めませんか？

生活支援の担い手大募集！

令和元年度 第2回 茨木市
訪問型サービスAヘルパー養成研修

日時 2月17日(月)・18日(火)

会場 茨木市福祉文化会館203号室
(市役所向かい)

時間 9:30～16:30

対象 2月下旬に3時間 デイサービスにて
(少人数で実施いたしますので、各参加費のご予定を
お問い合わせの上で日時を決定いたします。)

70代高齢者や
障害者！

介護の経験は
いりません！

研修を体験に
しませんか？

第1期1期生から
選抜します！

お問合せ先 ☎072-620-1639
〒567-8505 茨木市駅前三丁目8-13
茨木市長寿介護課 給付係(14-2番窓口)

自動運転の実証実験を視察してきました 滋賀県東近江市奥永源寺地域

高齢化が進み、免許証の返還をされる方が増えています。これまで買い物に、病院にと車で出かけておられた方が、免許証を返納後、公共交通を利用して出かけられることとなります。しかし、日本全国を見ても、交通空白地と言われる地域が多く存在します。茨木市においても、特に北部地域や、バス交通があっても、近隣のバス停までの距離が坂道や階段などが多数あり、足腰に自信のない方々は出かけることが困難になります。山手台地域や北・南春日丘地域でもバス停までがづらいというお声を聴いています。本市においても社会実験に取り組むという方針ですが、まだ具体的に動いていません。

国土交通省が取り組んでいる「中山間地域における道の駅を拠点とした自動運転サービス」の社会実験を体験してきました。自動運転といっても、運転手の方は乗車されています。道に埋め込まれたセンサーの上を低速で走行します。もちろん人や車と出会った時には手動運転に切り替えて車を回避させたりしなければいけません。そのために運転手が乗車しています。

本実験は、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)自動運転のプロジェクトの1つとして実施されています。



ヤマハ製の6人乗りの
カート仕様車

毎週火曜日・木曜日の朝はR茨木駅西口下、水曜日の朝は南茨木駅、金曜日の朝は阪急茨木市駅東口南側にてご挨拶と週刊通信を配布させていただいています。お急ぎとは思いますが、お時間許せば手に取っていただけたら幸いです。お声をかけていただけたらとても嬉しいです！

